日光市広報

12月号（通58号）

年末特集号

発行
栃木県日光市中鉢石町999
日光市役所

編集 総務課広報係
印刷 神山印刷所

ウインター・スポーツのシーズン開幕

整備されるスキー・スケート場

スキーヤーでにぎわう湯元グレンデ

今年の初雪は、例年より早く十二月四日夜半に降った雪は、湯元で二十五センチもつもり、山なみは一つの冬を記録した。

冬将軍の訪れとともに、いよいよ本格的ウインター・スポーツのシーズンを迎えた。市内各スケートリンクの準備と、スキー場の諸施設の整備も、あらかた完了して、あとは冬期客の訪れを待つばかりとなった。

今年のスキー場は、昨シーズンに実施した、スキー、スケート実態調査にもとずき、各方面から検討された結果、湯元スキー場においては、スキー場の拡張を第一に取りあげた。さらに、第二グレンデには、待望のスキー・リフトを、東武興業の手により建設、十二月中に完成する。このリフトは、長さ三百八十メートルのもので、現在の第一グレンデにあるリフトよりも大きい。この二つをあわせて活用すれば、雪質の点からも、施設の点から見ても、東京からもっとも手軽に行けるスキー場としてのていさいを整えた。

一方、スケート・リンクの施設も、シーズンにそなえて、早くからすすめられ、二荒山外苑リンクでは、四百メートルコース内を整地、製氷にかかった。

スキー、スケート場の状況を連絡するための手段としては、例年どおり、スキー、スケート連絡を実施。東京都内主要駅、デパート、案内所などに掲示するほか、市内でも、観光案内所、市役所前掲示板などに、刻刻の状況が記入されることになっている。また冬の雪山には、雪崩をはじめとして、相当数の登山家が訪れる予想なので、山岳事故防止対策協議会でも、事故防止について、早くから関係各方面と話しあって、対策をたてている。

こうした状況から、この冬は例年より、三割増度の来遊客が増えるものと予想され、これらの冬期客に極する関係者の、親切なサービスが望まれている。

今月の問題

刃物を持たない運動

「刃物を持たない運動」はいま全国的運動として、もりあがりを見せさまざまの方法で推進されているが日光市でも、市と、警察、教育委員会、児童委員協議会などが中心となって、この運動を推進することになった。十二月七日には関係者が集って協議会を開いた結果、実施要綱の大要を決めた。

◎実施重点とスローガン

刃物による非行の防止

「やめよう!!刃物の持ち歩き」

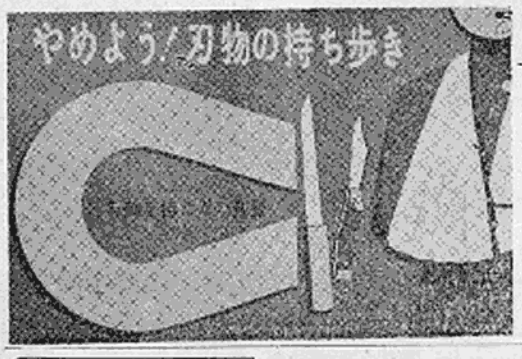
◎運動の期間

十二月一日から末日まで。期間終了後も継続して運動の推進につとめる。

活動目標は、①地域社会の理解と関心をたかめる。②刃物類の販売状況の実態把握と有害環境の浄化につとめる。③刃物を所持する青少年の早期発見と適正な指導、の三点で行なわれるが、いずれも、学校、および家庭での指導が最も大切であり、最も効果がある。ここでいう刃物とは、あいくち、飛び出しナイフ、その他の刃物いっさい。

そのほかデエン、けん銃など他人の生命身体を害するものも刃物に準じて運動の対象となる。

行事としては、十七日にパレードを実施、また二十八日まで危険な刃物を集める活動も行なわれる。ことしになってから日光市内で刃物による非行として補導された少年は、十月までに二十八人にもなっている。各家庭、学校などで、もう一度真剣に考えてよい問題だ。



犯罪防止

新年からの広報について

◎市役所では、明年一月から、文書の横書き制を実施します。

これにともない、本来なら、日光市広報も、横書制を実施するところですが、新聞形式の特殊なものとして、これまでどおり、縦書きといたします。しかし、題字は新しく、横書きとし、紙面にも、これまでより横組みを多く編集いたします。

◎日光市広報は、毎月一日に発行いたします。

ことしは、日光市広報を、号外を除いて十二カ月発行しましたが。事務上の都合で発行日が遅れることがありました。

明年は、一月から必らず毎月一日に発行いたします。自治会長さんのお手もとには、前月の二十七日頃までには、おとどけします。一日になっても届かない場合は、自治会長さんに、お問合せください。

◎広報に御意見を……

日光市広報には、その月の大事なお知らせを、たくさん掲載いたします全家庭に配布されるものですから、よくお読み下さい。

また「ともしび」欄をはじめ、市民の皆様の御意見を多くとりあげたいと思いますから、御意見、御希望、写真など、どしどしお寄せください。掲載のものには記念品をさしあげています。

◎広報調査は二月に……

昨年十二月一日に実施した、日光市広報調査は事務の都合から二月一日に実施いたします。御協力ください。

私の願い (2)

「になはない」責任合戦を演ずる選挙。その選挙もやっと終りました。終ったとたんに選挙のことは、すっかり忘れてしまったようですが、忘れてしまってはいけないものがあるんです。それは、ほら、まだあちらこちらに残っているでしょう。候補者の氏名を印刷したビラ。国立公園の日光、世界中からお客さんのみえる日光にあんなビラがいつまでもはってあっていいのでしょうか？私は、このビラをはがしてあるいていますが、なかなか取りきれません。はった人が、終ったら責任をもって、はがすのが本当ですが、目分のまわりだけでも、各家庭で、はがしてしまってはどうでしょう。ある候補者は、全部責任をもってはがしたそうですが、大部分の方は〝選挙〟ということを知らないようです。

私達の街ですもの、みんなできれいに、住みよくしましょう。

衆院選挙 投票率八六・四九%

＝前回よりややおちる＝

十一月二十日に実施された、衆議院議員総選挙の投票率は、最高が第十七投票区の湯ノ原で九六・五二%。最低が第九投票区の芦ノ湯で七六・九%だった。町内別では、湯ノ原を最高に、ベストセブンは、西小来川、和の代、新船尾、中安戸、安良沢、稲荷町一丁目の順で、九十%を越えた町は、全部で十二あった。日光市の平均投票率は、八六・四九%。前回の衆議院選挙、八七・九%より少し落ちた。今回の選挙の成績は、県内十一市の中では最高。また町村を合めた中では、第二位だった。これによの、十二月三日、栃木県選挙管理委員会から、日光市は「投票成績優秀市町村」として表彰された。

火災シーズンを迎えて

「昨年の火災件数は二十四件だった。今年は十二月初旬すでに二十三件を数えている。原因別では不始末による出火が九件、子供の火遊びが七件、過熱による出火が二件、放火一件、原因調査中が四件になっている。諸君の日ごろの努力には、敬意を表するが火災の本格的シーズンを迎えたので、火事の予防箱、出火時の消防など、さらにいっそうの努力をお願いしたい」小杉消防署長は、十二月一日消防団中堅幹部研修会で大要このようにのべた。

各家庭においても、火の用心を十分お願いしたい。

（訓示する小杉消防署長）

オシラセ

〔師走〕12月

◎成人式の対象となる成人者

第十三回（昭和三十六年度）日光市成人式が、明年一月十五日に実施されるが、この成人式の対象となる成人者は、昭和十五年一月十六日から、昭和十六年一月十五日までに生れたもので、日光市在住の青年男女。

日光市に住民登録のしてあるものということになっている。年令的に資格があっても、住民登録がしてないと出席できない。住民登録は、本庁総務課戸籍係、各支所、出張所。成人式についての問合せは、本庁教育委員会事務局、社会教育係へ。

◎一方交通

この冬も例年どおり、菖蒲ガ浜、湯元間の一方交通が実施される。期間は、雪のある間だけで、この区間は必らず修理員に連絡をとってから運行しなければならない。整理員のいる場所は、菖蒲ガ浜、赤沼、逆川、湯元の四カ所。

◎共同募金

十、十一の二カ月間、赤い羽根募金としての共同募金を実施、このほど集められた金額を、県の共同募金会に送付した。

ことしの募金実績は、目標の六十四万円に対して、六十五万二百十九円と、一万円余も多く集った。内訳は、戸別募金が、三十九万六千八百十七円。一口千円以上の法人募金が、十四万五千円。街頭募金が、十万八千四百二円であった。

この募金にあたった奉仕者は、戸別募金、六百九十人、街頭募金百九十人を数えている。

◎納税貯蓄組合（設立）

上鉄石町納税貯蓄組合、中路

◎表彰状＝（白菜）山久保、手塚富治

◎まゆ＝（初秋蚕）山久保、松本市議秋蚕）山久保、斎藤之一

◎炭＝（白炭）流力原、亀山隆清

◎苗木＝（すぎ）稲荷町、日光森林組合

◎八王子婦人会との交歓

今年八月十日に、八王子市から、婦人会幹部約五十名を招いて、交歓研修会を開いた、日光の婦人会では、今度八王子市からの招きで十二月十日、八王子市へ三十名が出かけて行った。

姉妹都市のような関係にある両市の実情を、まず主婦の立場から勉強しようというもので、その成果が期待されている。

◎精神薄弱者福祉法

精神薄弱者および軽度の精神障害者の福祉、援護対策については、これまで、まったくの放置状態にあり、大きな社会問題となっているが、こうした人の援護対策として、今年の四月一日に「精神薄弱者福祉法」が制定された。

この法律の制定にともなって、精神薄弱者の実態を知り、今後の福祉および、援護措置を推進するために、十二月一日現在で、各町内、民生委員の協力をえて、実態調査が行なわれる。

◎年末金融

商工業者の方の年末金融には、中小企業互助会を利用されることをすすめる。すでに何回もお知らせしているが、希望の方は、早めに申し出ていただきたい。今年は何かと忙しいので十二月の審査会は早めに開かれる。くわしいことは、市役所経済課へ。

石川正一郎氏（国鉄日光駅助役）胃潰瘍のため、十一月二十八日、鹿沼市上都賀病院で死去された。四十六歳。昭和七年以来国鉄に勤務、二十二年八月から、日光駅助役として、蒸気機関車、ディーゼルカー、電車と三つの時代を通して、乗客の安全輸送につとめられた。

◎人口

第十三回（昭和三十六年度）日光市成人式が、明年一月十五日に実施されるが、この成人式の対象となる成人者は、昭和十五年一月十六日から、昭和十六年一月十五日までに生れたもので、日光市在住の青年男女。

◎水道料金冬期割引

冬期間、水道料金が割引になる。割引をする期間は、日光、清滝、細尾地区が、一、二月の二カ月間。中宮祠地区は一月から三月までの三カ月間。湯元地区は、十二月から三月までの四カ月間。割引の対象は、計量栓によるもので、基本料金に達しないものは除かれる。割引率はいずれも一割。

◎やみ米に御注意

最近市内の各家庭に、市外からのやみ米が出まわっている。米は、正規のルートで買わなければならないことになっているし、やみ米の品質については、いっさい保証できないと市の経済課では警告している。

◎寄付金受入

日光白タク親交会一同殿より社会事業費として、八千三百二十八円受入。日光市社会福祉協議会会計へ繰入れ（十一月二日）

◎職業訓練生募集

今市職業訓練所では、短期間に優秀な技能者となり、良い条件で就職させる目的で、職業の訓練生を募集している。種目は、木材工芸科、家具専修（二十名）挽物専修（十名）彫刻専修（十名）で、とくに彫刻では女子をかんげいしている。訓練期間は一カ年で、申込期日は十二月末日まで。くわしいことは、今市市春日町五四五（電話今市二七四番）栃木県今市職業訓練所に問合せのこと。

◎産業祭農産物品評会入賞者

昭和三十五年度、日光市産業祭農産物品評会の入賞者が決まり、十一月二十六日、公会堂で表彰式が行なわれた。今回は、初の試みである「産業祭」の一つとして行なわれたが、出品点数も多く、成績も良かった。以下は入賞者名（いずれも一等）

◎穀しく類＝（白米）和泉、大門喜市（玄米）和泉、北山太一

◎根菜類＝（大根）山久保、吉新重士（にほう）山久保、吉新泰次郎（こんにゃく）山久保、斎藤福二郎